

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	建設環境法規		
科目基礎情報							
科目番号	0022	科目区分	専門 / 選択				
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	建設環境工学科 (R2年度開講分まで)	対象学年	5				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材	平成28年度版 (最新版) 要点テキスト 1級土木施工管理技士 市ヶ谷出版社						
担当教員	霜田 宜久						
到達目標							
①環境基本法、建設リサイクル法等の各法規について、基本的なしくみを理解する。 ②土木法規について、2級土木施工管理技士試験問題範囲の内容を理解し、70%以上の正解ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。				
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C)							
教育方法等							
概要	環境関連法に関する背景と社会の動向を把握し、概要について理解する。 建設関連法規を理解し、建設関連の法律の基礎知識を身に付ける。						
授業の進め方・方法	中間試験は授業時間中に50分間の試験を実施し、期末試験は50分間の試験を実施する。 定期試験の結果を80%、適宜実施するミニテストを20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	随時小テストを実施するので、事業中もその対応ができるようにしておく。 新聞などをよく読み、社会問題になっていることやその背景を理解する。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	環境関連 1	公害の歴史、公害対策基本法等			
		2週	環境関連 2	環境基本法・循環型社会形成法			
		3週	環境関連 3	建設リサイクル法、各種リサイクル法等			
		4週	環境関連 4	環境アセスメント法・地球温暖化			
		5週	建設関連 1	労働基準法、労働安全衛生法			
		6週	建設関連 2	道路関係法、河川法、建築基準法			
		7週	前期中間試験				
		8週	建設関連 3	火薬取締法、騒音・振動規制法			
	2ndQ	9週	建設関連 4	施工管理、建設機械			
		10週	建設関連 5	工程管理、品質管理			
		11週	建設関連 6	安全管理 1			
		12週	建設関連 7	安全管理 2、環境保全			
		13週	建設関連 8	河川・砂防			
		14週	建設関連 9	道路・舗装			
		15週	総括				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	ミニテスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0